



おもいやりのある子



おわりまでやりぬく子



せいっぱい考える子



令和6年度 第2号 令和6年6月20日 発行

【6月14日（金）朝会から 校長講話】.....🍄 🍄 🍄 🍄 🍄 🍄 🍄 🍄

先週の金曜日、朝の放送で、「6月は命を大切に作る月間です」というお話がありましたね。命について考えてもらうために、浜松市内のある小学校5年生の作文「じいじから学んだこと」という作文を紹介しました。覚えていますか。今日は、今から、本を1冊読みたいと思います。この本にも、「おじいちゃん」が出てきます。題名は、「だいじょうぶ、だいじょうぶ」です。

～読み聞かせ～

主人公の「ぼく」は、出会いや発見が増えるたびに、怖いことや不安も多くなっていきました。そんなとき、いつもおじいちゃんは、ぼくの手を握り、「だいじょうぶ だいじょうぶ」と、まるでおまじないのように、つぶやきました。その言葉が、ぼくの不安を包み、心を落ち着かせていきました。

みなさんは、どうですか。今、不安に思うことや心配なことはありますか。元気に楽しく毎日を過ごしていけるのが一番ですが、うまくいかないこと、悲しく辛い気持ちになることもありますね。そんなとき、「どうせ自分なんか」「もうどうでもいい…」と、自分を大切にしない言葉を言っていないですか。

不安や心配事があるときに、みなさんにしてほしいことがあります。それは、誰かを頼ってほしいということです。頼る相手は、いろいろいます。おうちの人、先生、友達…

では、もし、友達に、相談されたり頼られたりしたら、みなさんは、どうしますか。きっと、親身になって相談に乗ったり、励ましたりしますね。それは、大瀬小の一つ目の「お」は、「思いやりのある子」だからです。

おじいちゃんの「だいじょうぶ だいじょうぶ」は、ぼくの不安な気持ちを和らげ、生きていくための しなやかで強い心を与えてくれました。

みなさんの発する言葉が、だれかの不安な気持ちを和らげ、支えになっています。

その逆もあります。友達に言われた言葉で傷ついたり、自分の言った言葉で友達を傷つけてしまったり… 言葉は、「だれかを励ます」パワーもあるけれど、「だれかを傷つける」力も持っています。

今から11年前の6月に、浜松市の中学生の大事な命が失われました。みなさんには、「命を大切に作る心」をもってほしいです。「命を大切に作る」とは、「自分の命も、人の命も大切に作る」ということ「人の気持ちが分かる心をもつ」ということです。自分が「励ます言葉」を使っているのか、「傷つける言葉」を使っているのか、この命の週間に、振り返ってみてください。

さて、今年の大瀬小スローガンが決まりました。「スマイル大瀬～思いやりの心で一人一人を大切にしよう」です。思いやりがあふれる学校にしたいという願いが込められています。今、校長先生が話したことと同じですね。

大瀬小では、「思いやりのある子」を、ずっと目指してきました。OCRの活動で、思いやりの幅を広めて、改めて目指してきました。命の週間だけでなく、ずっと前から、ずっと続けてきていることです。これからも、みんなが温かい学校を創っていきましょう。



///5・6月の活動から////////////////////(笑)/(笑)/(笑)/(笑)/(笑)/(笑)/(笑)/(笑)////////////////////



【5/1 「1年生を迎える会」】6年生を中心に準備し、全校児童で温かく1年生を迎えました。



【5/17 5年生 社会科「田植え体験」】農家の鈴木旭さん指導のもと、田植えを体験しました。



【5/31 2年生 生活科「まちたんけん」】気になっているお店や工場を見学してきました。



【6/5 6年生「交通安全を語る会」】交通ボランティアの方などを交え、危険箇所を確認しました。



【6/14 3年生 社会科「わたしたちのまち」】地域の神社や工場を見て回りました。